

事務事業名	地域づくり活動等支援事業	所属部	政策企画部	所属課	地域振興課
政策名	総合計画体系 (I) 市民と行政の協働によるまちづくり《住民自治》	所属G	地域振興G	課長名	小川 忍
施策名	(01) 市民が主役のまちづくりの推進	担当者名	石田 誠	電話番号 (内線)	0854-40-1013 3517
基本事業名	(003) まちづくり活動の環境整備	予算科目	会計 款 項 目 中事業 011 110 05 65 06	交流センター管理事業	

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (22年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	地域自主組織が交流センターを活動拠点として行う地域づくりに取り組むための事業に対し交付金を交付する。	平成22年4月1日より交流センターが設置されることに伴い整備。

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(概要)	事業費	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	全体計画
地域づくり活動等交付金(地域自主組織対象分:38,733千円)	財源内訳	千円						
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円		37,100	37,100	79,900		
	その他	千円						
	一般財源	千円		6	1,633	1,719		
	事業費計(A)	千円	0	37,106	38,733	81,619	0	
② 延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	人件費	人		4	4	4		
地域づくり活動等交付金事務(申請書受付、交付(4期に分けて交付)、実績報告受付、精算)	正規職員従事人数	人		4	4	4		
	延べ業務時間	時間		120	793	500		
	人件費計(B)	千円	0	467	3,126	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	37,573	41,859	81,619	0	

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動)	⑤ 活動指標							
	地域づくり活動等交付金事務(申請書受付、交付(4期に分けて交付)、実績報告受付、精算)。地域振興補助金の見直し。	ア 地域自主組織への交付金	千円		37106	38733	81619		
	24年度計画(24年度に計画している主な活動)	イ							
	地域づくり活動等交付金事務(申請書受付、交付(4期に分けて交付)、実績報告受付、精算)。	ウ							
		エ							
		オ							

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	地域自主組織	⑥ 対象指標							
		ア 地域自主組織数	箇所		42	42	42	42	42
	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標							
	まちづくり活動がしやすくなる。	ア 過去1年間に地域活動に参加した市民の割合	%	66.7	69.9	73.9	74	74	75
		イ							
		ウ							
上位目的	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標							
	まちづくりの課題を主体的に解決する。	ア 地域課題を地域主体で解決できると感じる市民の割合	%	49.4	57.1	47.4	59	62	65
		イ							

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
交流センター設置3年目を迎え、各種支援策のあり方についても検証、見直しが必要となっている。	より地域の自主性を高め、さらに使いやすくなるため、地域振興補助金を見直し、地域づくり活動等交付金に上乗せし一括交付とした。	地域自主組織に対する交付金の算定方法について、施設稼働率など、より実態に即した算定への見直しを求める意見がある。

事務事業名	地域づくり活動等支援事業	所属部	政策企画部	所属課	地域振興課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 活発に地域活動を行うための支援であり、市民が主役のまちづくりの推進に繋がる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 行政の役割として地域づくりのための活動支援が必要である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 地域自主組織は雲南市のまちづくりの核であり、そのための支援は妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 地域の自主性を尊重した仕組みにより、成果を向上させる余地はある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ まちづくりは行政だけの役割ではなく、市民との協働が必要であり、そのための支援がなくなれば、まちづくりは進まない。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はありますか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) 交流センター管理運営事業 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 雇用事務を地域が受けるためには、それ相応の支援が必要である。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 地域づくりにとって重要な事業費であり、しばらくは固定枠として交付・支援する必要がある。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 流用の考え方等、制度が複雑であり、もっと単純・簡素化にできる。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 地域自主組織は市民全体で構成されており適正である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	当該交付金は従来の公民館で行ってきた生涯学習部分を担保するものであり、平成24年度から補助金から交付金へトリニューアルされる財源と一体となった活動原資となることを期待する。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			●	維持			×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上			●																			
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
問題把握、現状分析を踏まえた課題設定、解決策の検討																							